

～令和4年7月 データから見た業界の動き～

7月報告のポイント

あらゆるモノ・サービスの値上げにより収益D.I値は大きくマイナス 消費マインドの低下から売上・景況感の悪化を懸念

■ 概 況

7月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で売上高+4ポイント（前年同月比▲18）、収益状況ポイント▲34（前年同月比▲36）、景況感▲18ポイント（前年同月比▲12）となり、先月回復値を示した景況感D.I値が再び悪化するなど、すべての項目において前年の数値を下回った。

業種別で製造業は売上高+5（前年同月比▲10）、収益状況▲45（前年同月比▲30）、景況感▲35（前年同月比▲30）となった。

食料品製造業や機械器具製造業をはじめ多くの業界から、売上げは増加しているものの、原材料や燃料価格等の製造原価の上昇から収益が圧迫されているとの報告が目立つ。

また、木材製品製造業からは、「あらゆる物価上昇により新築住宅需要が減少、これまで木材は調達難から仕入れコストが上昇してきたが、今後は需要減から在庫増加という状況に追い込まれる可能性があり、急激な経営悪化を招く恐れがある。」との報告がされた。

非製造業では、売上高+3（前年同月比▲24）、収益状況▲27（前年同月比▲40）、景況感▲7（前年同月比±0）となり、先月からは一転7月期は大きく数値を下げた。

電気工事業では、エネルギー需要の増加によるインフラ整備など受注工事量は順調に推移するとの予測がされ、管工事業からも安定的に工事資材の販売がされているとの報告がされた。

しかし、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加や物価高の影響から商店街では来店者数が減少、組合員店舗の売上げは深刻な状況、旅客運送業（タクシー・バス）からも稼働が低下、キャンセルが徐々に増加しているとの声が聞かれた。

製造業・非製造業ともに企業等は経済の先行きや社会情勢を見通して投資を拡大しているのに比べ、消費者は相次ぐ製品・サービスの値上げにより徐々に財布の紐を締め、今後の県内中小企業者の売上の減少、更なる景況感の悪化が懸念される。

あらゆる商品等の値上げ要因となる電力やガス等のエネルギー価格の上昇は、昨年数ヶ月毎に続き、電力については運営会社が立ちゆかず、契約の打切りや大幅な料金値上げなどが生じている。中央会では事業者におけるエネルギー価格と影響（1年前との比較）について調査し、38社（50社中の有効回答数）より回答を得た。

回答のうち「～150%上昇した」は2%、「20～50%上昇した」が29%、「20%未満」が65%となった。回答の96%はエネルギー価格高騰の影響を受け、内86%は販売価格への転嫁を講じた（講じる予定）とされた。

しかし、小規模・中小企業者が原油・原材料の上昇分を価格に転嫁することは容易ではなく、元請けや施主への理解を得られなければ販売価格の改定は叶わない。コメントにも「顧客の要望に合わせた物件の完成が第一であり、社内経費は二の次にせざるを得ない（鉄構溶接）」との声もあり、このような状況が長引くと事業の継続までが危ぶまれる事態となる。中央会では、経営基盤の強化を目指す事業者への専門家派遣事業を用意し、事業の継続を支援する。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製造業

<p>食料品 (水産物加工業)</p>	<p>ギフト関係の売上げは前年同月を下回ったが、人流が増加したことからホテルやレストラン、居酒屋向けの業務用が好調。おせちの前倒しの大型受注もあり、全体の売上げは前年同月と比べ25%以上の増加となった。前倒し受注を除いてもコロナ前の水準に戻ったと感じる。ただし、原材料や燃料の高騰により収益は厳しい状況にある。</p>
<p>食料品 (洋菓子製造業)</p>	<p>巣ごもり需要により高成長を続けてきたが、一服感がある。店舗拡大効果が継続し前年同月と比べ売上げは10%程増加している。しかし、収益面では売上げほどの伸びはない。</p>
<p>食料品 (パン・菓子製造業)</p>	<p>前年同月と比べ売上げは25%程増加したが、原材料、包材、エネルギー、燃料など様々なものの価格が高騰し、収益を出しにくい状況となっている。</p>
<p>食料品 (酒類製造業)</p>	<p>感染症の再拡大により売上げが減少。厳しい経営状況が続いている。</p>
<p>繊維・同製品 (織物)</p>	<p>ネクタイ部門では生糸の価格が上昇しているため販売価格への転嫁を検討せざるを得ないなど不安を抱えている。傘地部門では猛暑により日傘の需要が増えている。裏地部門ではドビー織、ジャガード織ともに受注があるが、今後についてはコロナの拡大によって先が読めない状況となっている。</p>
<p>木材・木製品製造</p>	<p>木材需要の低下が始まっている。住宅着工の落ち込みと物価の上昇が要因だと考えている。今後は仕事量が激減することが予想され、仕入負担が増えたうえに、在庫過多の状況になり急速な経営悪化が懸念される。</p>
<p>印刷・同関連業</p>	<p>インキや用紙などの価格が上昇しているが、販売価格に転嫁できず前年同月と比べ収益が悪化した。</p>
<p>窯業・土石 (砂利)</p>	<p>販売価格は上昇しているが、エネルギーの値上がりなどにより収益が出ない。時期的にも仕事量が少ないが、長引く感染症の影響により今後の民間の設備投資や建築工事などの見通しが立たない。</p>

<p>窯業・土石 (山碎石)</p>	<p>舗装工事中用砕石や下層路盤材料などの道路用砕石の売上げが伸び、久しぶりに売上高が増加したが、当該工事は公共事業ではなく民間工事の受注のため、一過性のものだと考えている。本年度に入っても主要工事であるリニア新幹線関連工事の進捗は芳しくなく、その他工事も遅延し新規発注件数も少ないことから、今後は今以上に厳しい状況になると予想している。</p>
<p>鉄鋼・金属 (金属製品製造業)</p>	<p>前年同月と比べ売上高は10%程増加したが、原材料が不足している状況。</p>
<p>一般機器 (生産用機械器具製造業)</p>	<p>前年同月の売上が低かったため収益状況に大きな変化はないが、材料や加工賃の値上がりにより資金繰りが悪化している。状況を注視し販売価格の値上げ交渉を検討しているが、今後の景況は、若干の悪化を予測している。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>半導体を使用した部材のなかには入荷時期が6～10ヶ月待ちのものがでている。取引先へ見積もりの提示ができないことや先行手配による在庫の増加により、資金繰りに苦慮している。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>半導体製造関連はおおむね順調に推移しているが、医療関連の動きが減速し始めたように感じている。また、新規開発試作も少なくなっている。売上げは前年同月と比べ10%程増加しているが、原材料の値上がりが収益を圧迫している。</p>
<p>宝飾 (研磨)</p>	<p>前年同月と比べ売上げは▲20%となった。販売価格が上昇し、展示会等での売上げが伸びない。</p>

● 非製造業

<p>卸売 (自動車中古部品)</p>	<p>組合員が行う中古車部品の販売価格が低下し、特に鉄はピーク時に比べ半値になるなど厳しい状況にある。原材料となる廃車の価格は下がらず、また発生台数も過去最低となっているため景況感は非常に悪い。</p>
<p>卸売 (ジュエリー)</p>	<p>為替の影響による原材料の高騰から収益率の低下が続いている。年末商戦に向けて商品準備の時期に入っているが、国外からの原材料の調達も難しい。物価の高騰が工賃にも上乗せされているため、販売コストが上昇している。</p>

<p>小 売 (青 果)</p>	<p>新規感染者数が急増したことから、飲食店やホテル・旅館等のキャンセルが増え、収益が悪化している。感染症者数の減少を望んでいる。</p>
<p>小 売 (食 肉)</p>	<p>新規感染者数の急増により飲食店は個人及び会社関係の利用者が少なく売上げが伸び悩んでいる。ホテルでは宿泊客のキャンセルが少しずつ増えているが、予約は確保できているため全体としては回復してきている。円安、原油高、海外の人件費高騰など複数の要因で肉の値上りは続くと考えている。値上げにより売上高は増加しているが、光熱費や燃料、資材の値上げなどに収益が圧迫されている。</p>
<p>小 売 (水産物)</p>	<p>仕入れ価格が毎月上昇し、それに伴い販売価格が上昇している。ロシアのウクライナ侵攻の影響が続いている。</p>
<p>小 売 (電気機械器具小売業)</p>	<p>前年同月はコロナ禍での巣ごもり特需で売上げが伸びていたが、今期は冷蔵庫のみが横ばいで他商品は20%以上の売上減少となった。半導体不足の影響により品薄状態が起きている。</p>
<p>小 売 (事務機小売業)</p>	<p>前年はパーテーションなどの感染症対策商品や衛生用品等の補助金を使った需要が多くあったが、消耗品以外の用品は行き渡ったため売上げが減少した。取引先の業績がコロナ前と同等に回復するにはもう少し時間が掛かるためか、経費の支出を抑えていると感じる。</p>
<p>小 売 (ガソリン)</p>	<p>県、南アルプス市より小売業の大手であるコストコが南アルプス市に2024年に進出することが発表された。コストコが運営するガソリンスタンドも建設予定であるが、コストコのガソリンスタンドは特別な販売方法にて周辺販売価格を大きく下回る価格で販売しているため、県外のコストコ周辺のガソリンスタンドは廃業、閉店に追い込まれている。当組合でも南アルプス店の進出に対し、情報収集をしながら組合員に対し冷静な対応を促していく方針である。</p>
<p>商 店 街</p>	<p>感染症の第7波が市況を悪くしている。国の指針をしっかりと示してもらいたい。</p>
<p>商 店 街</p>	<p>組合が管理する駐車場の売上げは、コロナ以前の売上げには届かないが前年同月と比べ増加した。しかし組合員店舗の売上げは深刻な状況が続き、今後の商店街の運営及び活動がより厳しい状況になっていくと思われる。</p>

<p>宿 泊 業</p>	<p>宿泊者数は増加傾向にある。新規感染者数の急増によりキャンセルが懸念されたが、行動制限がないためかキャンセル数の増加や売上げの減少はみられない。ただし、宴会等のキャンセル・少人数化により、そちらの回復はまだ期待できない状況である。</p>
<p>一般廃棄物処理</p>	<p>人員が足りない分高効率の車両を購入したが、半導体不足により納車時期が定まらない。取り急ぎ中古車を購入したが価格の高騰に加え整備費が増大している。今後は中古車の確保も難しくなることが予測される。</p>
<p>警 備 業</p>	<p>公共工事が好調となったことから警備需要が急増し、連日警備員の派遣要請があるものの、警備員不足のためにほとんど断っているのが現状である。夏期のイベント系も感染症の拡大により、一部で中止や延期、縮小となったが、販売価格の上昇から全体的には前年と同水準となった。警備員不足の要因としては、高齢者の退職や熱中症等の傷病、感染症の濃厚接触者の増加、猛暑による就職敬遠や離職などによるもので、今後警備員不足が解消されれば、警備の需要が多い状況から売上高の増加が期待される。</p>
<p>建 設 業 (総 合)</p>	<p>公共工事では、前年同月に比べ件数は▲2.7%、請負金額でも▲34.9%となった。7月末累計でも件数は▲3.5%、請負金額も▲7.1%となっている。保証会社が6月に実施した建設業景況調査によると、4～6月の実績は「悪い傾向が続いている」、7～9月までの見通しは「悪い傾向が強まる見通し」となり、実際に当該調査を反映した結果となった。今後の動向も注視したい。</p>
<p>建 設 業 (鉄 構)</p>	<p>鋼材、副資材価格の高騰が販売価格に反映出来ないほど価格の上昇が激しい状況に加え、工期が遅延することで受注金額と実際のコストの乖離が大きくなり、収益状況は悪化する一方。会員の多くが請負業務のため、顧客の要望に合わせた物件の完成が第一であり、社内経費は二の次にせざるを得ない状況である。</p>
<p>設 備 工 事 (電 気 工 事)</p>	<p>インターネットの普及をはじめとした産業の発達により、エネルギー需要が増加している。また、環境に配慮した太陽光発電やエコ商品への切替え、電気自動車の普及に向けた充電施設の拡大、エネルギー問題に端を欲したスマートグリッド構想など、生活に欠かせない重要なインフラ設備等により、しばらくの間は順調に推移していくものと考えている。</p>
<p>設 備 工 事 (管 設 備)</p>	<p>前年同月と比べ売上げは40%程増加し、収益状況も好転した。資材販売が好調で、供給の遅れもなく在庫切れによる販売不振も発生していない。今後の情勢を注視しつつ対応していきたい。</p>
<p>運 輸 (タクシー)</p>	<p>燃料等の高騰が続いている。先月までは夜間の稼働が持ち直してきていたが、新規感染者数の増加により稼働が低下した。経営状況は非常に厳しい。</p>

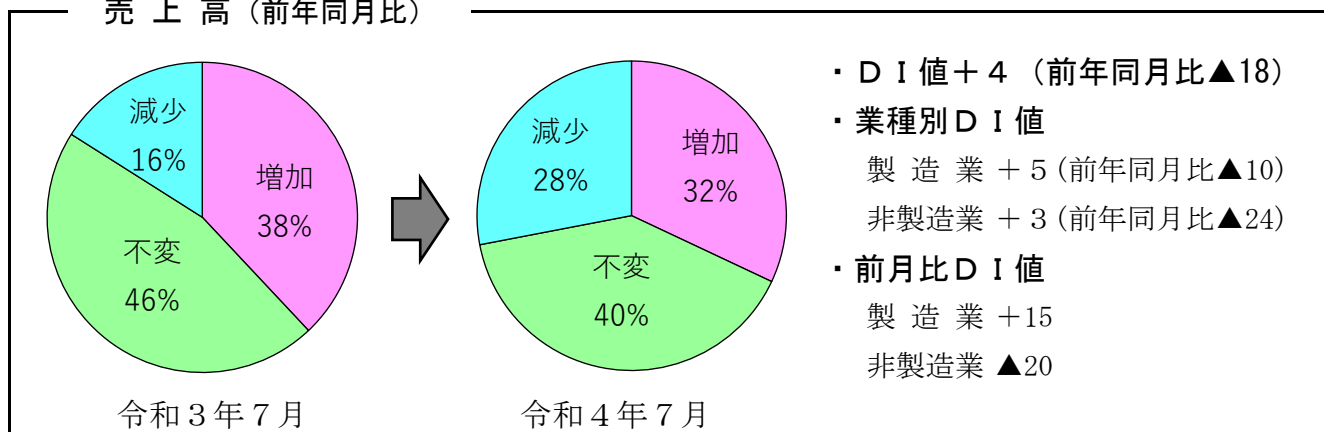
運 輸 (バ ス)	感染症の第7派によりキャンセルが徐々に増加している。同時に退職者数が増えてきている。
運 輸 (トラック)	果物・飲料水等の輸送需要が高まっており、売上げが伸びることが予想されるが、続いている燃料の高騰により収益状況は低いままとなっている。感染症の状況により輸送需要が左右されるため、予断を許さない状況が続いている。早期終息を願う。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値 (好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値)

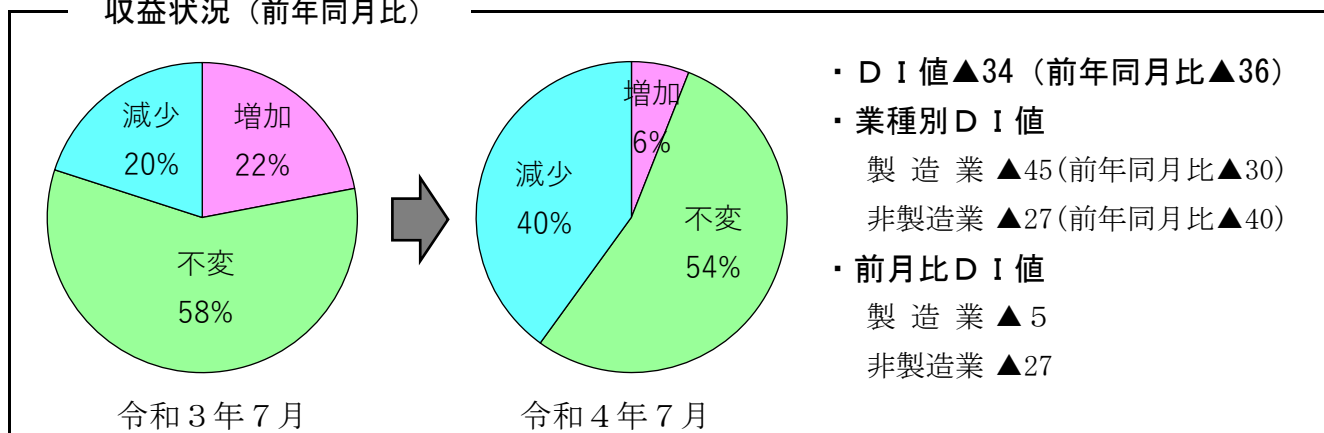
対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2021/7	2022/6	2022/7	2021/7	2022/6	2022/7	2021/7	2022/6	2022/7
売 上 高	15	-10	5	27	23	3	22	10	4
収 益 状 況	-15	-40	-45	13	0	-27	2	-16	-34
景 況 感	-5	-15	-35	-7	17	-7	-6	4	-18

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D. I 値

売 上 高 (前年同月比)



収 益 状 況 (前年同月比)



景 況 感 (前年同月比)

